

2013/03/08

外国人観光客へのよりよい「おもてなし」のために！ 松本市内の宿泊業者向けセミナーを実施

英語圏、中国語（繁）圏より外国人講師を招き、
市内宿泊業者の意識啓発と、今後の受入に役立つツール相談を行います

観光庁の2013年インバウンド目標1,500万人達成のため、外国人観光客の受入環境の整備が各地で進められています。松本城や上高地など国内有数の観光資源を有する松本市にも、多くの外国人旅行者が訪れていますが、言葉や慣習の差、また文化の壁など課題も山積しており、市内業者にとっても、外国人観光客は「誘客したいが、どう対応したらよいかわからないお客様」となっている面があります。

今回のセミナーは、松本市内でも外国人観光客受入を積極的に進めたい宿泊業者のみなさまに、外国人観光客に対して感じている心理的ハードルをなくし、宿泊業者と外国人観光客の双方が心地よいおもてなしを実践できるようにすることを目的としています。

本セミナーの特色は、以下の3点です。①英語圏出身の旅館経営者と中国語（繁体字）圏出身の国際観光業務経験者の講師2名を招いている点、②講師らに外国人観光客と日本人宿泊業者のおもてなしに対する認識のギャップや注意すべき対応のポイントを講義してもらう点、③現在事業者が使っているパンフレットなどのコミュニケーションをサポートするツールについて、講師と事業者が具体的なアドバイスや意見を交換する点です。

市内のインバウンド観光客受け入れを積極的に推進するみなさんの取り組みの支援を、信州外国人受入支援協議会は今後も行っていきます。

【宿泊施設の外国人観光客受入セミナー 概要】

日時：平成25年3月13日（水）14:30～16:30
場所：長野県松本勤労福祉センター 第6会議室
参加者：市内宿泊業関係者30名
講師：



タイラー・リンチ氏
[アメリカ出身。千曲市『亀清旅館』の“青い目の若旦那”。長野県旅館ホテル組合会インバウンド委員長を務める。]



高禎蓮（こう・ていれん）氏
[台湾出身。輪島市『朱澤』代表。多文化交流・国際観光業務における講演経験多数。]



【本リリースに対するお問い合わせ先】

信州外国人観光客受入支援協議会 事務局(特定非営利活動法人 SCOP 内) 担当：丸山
Tel: (0263)36-9180 Fax: (0263)36-9185
E-mail: maruyama@npo-scop.jp